

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	人文社会科学（観光と文化）(0938)	
科目基礎情報							
科目番号	5E07			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『コンテンツツーリズム』『社会学』						
担当教員	菊池 秋夫						
到達目標							
グループワークで、八戸地域を対象として、destination managementの演習をしていき、日本語・英語でのパンフレット作製をもって単位認定とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		授業で扱った観光学の基本を80%以上理解できる		授業で扱った観光学の基本を60%以上理解できる		授業で扱った観光学の基本を50%以上理解できる	
評価項目2		授業で扱った地域文化の基本を80%以上理解できる		授業で扱った地域文化の基本を60%以上理解できる		授業で扱った地域文化の基本を50%以上理解できる	
評価項目3		授業で扱ったテキストを80%以上理解できる		授業で扱ったテキストを60%以上理解できる		授業で扱ったテキストを50%以上理解できる	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1◎ ディプロマポリシー DP5 ○ ディプロマポリシー DP6 ○ 地域志向 ◎							
教育方法等							
概要	【開講学期】春学期週2時間、夏学期週2時間 旅は人間の生活と不離の関係にある。古代から現代まで、さまざまな理由で無数の人々が旅をしてきた。2003年に日本政府が国家的事業として位置付けているように、観光は巨大な産業の一つである。青森県にも三内遺跡をはじめ、観光資源が多数ある。三内遺跡のような世界遺産など、各地の観光資源を理解し、より知見を広めることは、豊かな教養をはぐくむことになるのと同時に、グローバルなアイデンティティが寄って立つ基礎となるといえるだろう。						
授業の進め方・方法	授業では、世界遺産などのDVD、19世紀イギリス旅行家のイザベラ・バードの日本旅行記などを使って、さまざまな「旅」「風景」「観光」「文化」などを見ていくことになる。英語文献も扱う予定。旅行に興味のある学生を歓迎する。						
注意点	グループワークで、八戸地域を対象として、destination managementの演習をしていき、日本語・英語でのパンフレット作製をもって単位認定とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction				
		2週	The World Heritage		自然遺産について分類を言える		
		3週	The World Heritage		文化遺産について分類を言える		
		4週	The World Heritage		観光の歴史を古代から近代まで概要を説明できる		
		5週	The World Heritage		観光産業の発達の概要を説明できる		
		6週	The World Heritage		観光資源の種類を言える		
		7週	The Workshop on Hachinohe Tourism		観光資源としての自然環境を説明できる		
		8週	The Workshop on Hachinohe Tourism		観光資源としての伝統文化を説明できる		
	2ndQ	9週	The Workshop on Hachinohe Tourism		観光資源としての博物館を説明できる		
		10週	The Workshop on Hachinohe Tourism The Workshop on Hachinohe Tourism		観光資源としての動物園を説明できる		
		11週	The Workshop on Hachinohe Tourism The Workshop on Hachinohe Tourism		観光資源としての城を説明できる		
		12週	Presentation I		デリバリーを向上させる		
		13週	Presentation II		デリバリーを向上させる		
		14週	Presentation III		アカデミックコミュニケーションを向上させる		
		15週	Presentation IV		アカデミックコミュニケーションを向上させる		
		16週	Review				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	10	0	10	0	100
基礎的能力	70	10	10	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0